

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (26) 農業マネジメント資金における動産譲渡担保での取扱い
JA兵庫六甲(兵庫県)

新規	継続
○	(年 月)

1 動機(経緯)	正組合員である個人が代表を務める農業法人で、主にイチゴ狩り用観光農園の営業及びイチゴの出荷を主業としています。三田市におけるイチゴ狩りの観光需要過多に因る為、観光農園事業拡大を図ることを目的としました。
2 概要	<p>既存所有ハウス（イチゴ 11,000 株分）をすべてイチゴ狩り向けの品種※“よつぼし”に変更、更にハウスを増設し 4,000 株を増産しました。現状の来場者数 10,000 人/年を本件設備投資により 5 年後には 20,000 人/年まで受入可能体制を構築し規模拡大を目指すものです。また、三田市市内におけるイチゴ狩り運営農家と協力し、客単価も現在の 1,800 円から 2,500 円へと段階的に変更する事により三田市市内のイチゴ狩り経営組合員すべての増収を図る計画です。</p> <p>※“よつぼし”は従来の品種と異なり親株のランナーから新芽をとらず、毎年種子からの育苗により栽培する品種である為、病虫害による被害が激減、高い増殖率を誇る事から生産性が飛躍的に向上します。毎年苗を採る必要が無く長期間イチゴ狩りを行う事が出来る事が生産者に対する負担軽減となり魅力の 1 つであります。果実も他品種より固めであり、持ち帰りに適した好品種であります。</p>
3 成果(効果)	<p>現状、イチゴ狩りへの参加希望者は増加の一途を辿り、各観光バス会社のツアーにも組まれています。個人の観光客に対し現状設備のままでは受入困難となっており、断る程の需要過多となっていました。</p> <p>本計画により、大型バスが停車可能な土地を合わせて取得する事により個人客だけでなく大阪市内等の都市近郊からも予約が殺到しており、現状週末は予約が取れないほど人気となっています。</p>
4 今後の予定	<p>本件は、借地に対し大規模なイチゴ高設栽培設置費用貸出案件です。土地を担保取得する事が出来ない為、土地上のハウス、及びハウス内部の高設栽培設備一式、イチゴそのものを譲渡担保設定することで保全に取り組みます。イチゴ栽培は一定以上の栽培技術を要します。現在三田市においては「第 4 次三田市農業基本計画」の中で農業を基幹産業として位置づけしており、特に観光農業に対しては三田市も注力しています。本件に関してはイチゴ栽培及び観光農園に係る生産技術・販売・営業の力及び経営者の素質が問われる事業であり、市・普及センター・当 JA が一丸となって定期的なモニタリング・アドバイス等を行っていきます。</p>